



MIYOSHI
CENTRAL HOSPITAL

創刊号
2003年8月

花みずき

公立三次中央病院だより



公立三次中央病院基本理念

私たちは地域の皆様から信頼され
親しまれる病院を目指します

<http://www.miyoshi-central-hospital.jp>

発行 公立三次中央病院



三次中央病院組合
管理者

三次市長 吉岡 広小路

今日、日本の医療を取り巻く環境は、急速な少子高齢化、低迷する経済状況、医療技術の進歩、国民の健康意識の高揚などにより、大きく変化しております。とくに医療保険制度の大改革は、全ての医療機関に、従来の、ある意味での甘えの体質からの脱皮を迫っています。

こうした中、今年度公立三次中央病院では、①民間の専門家や市民の方々の意見を取り入れながら「中短期計画としての病院経営健全化計画の策定」、②医療の質向上を目指して、755項目にわたるチェックとその取り組みを必要とする「財団法人医療機能評価機構による機能評価の受審」、③本病院と地域の開業医さんなどの連携により地域全体の医療サービスの向上を図るため「地域医療連携室の設置による、紹介予約診療の充実」、④職員の接遇研修の強化などによる「患者サービスの向上」、等の改革改善に取り組んでおります。

これまで、本病院からの情報提供が少なく、住民の皆さまにご不便をかけておりましたが、今回、地域へ開かれた病院として病院情報を積極的に発信するため、この病院広報誌「花みずき」を発刊することとしました。また、併せてインターネットによる「ホームページの開設」と、地域住民の皆さまの色々な意見をお聞きする場としての「病院医療を考える市民の会」を設置することとしております。

いずれも住民の皆さまと本病院との双方向コミュニケーションの一助になり、また、これらを通じて病院のことを出来るだけ知っていただければと思っております。

今後、「花みずき」の情報が皆さまの健康管理に少しでもお役に立つよう願うとともに、これからも公立三次中央病院が県北の中核病院として、より一層「皆さまから信頼され親しまれる病院」となるよう、最善を尽くしてまいりますので、よろしくお願いいたします。



公立三次中央病院

病院長 末永 健二

公立三次中央病院の広報誌「花みずき」を発刊することになりました。年2回の発刊を予定しています。

昨年4月、病院開設50周年記念事業としてのパネルディスカッション「県北地域における公立三次中央病院の役割」を行いました。その時、住民代表の方の意見として、病院から地域住民・患者様への情報が大変不足しているとの指摘を受けました。以来、その事がいつも気掛かりでしたが、今回の発刊でやっとお応えが出来るものと安堵しています。

広報誌「花みずき」では、病院の医師や看護師の医療活動の紹介とともに、医師の専門分野・経歴・主な疾患に関する医療費の目安、装備している医療機器、救急医療など、地域住民の皆様や患者様の関心が高い情報を紹介する予定です。また、併せて同時に、インターネットで病院のホームページを立ち上げますので、詳しい病院情報を得たいと望まれる方は、こちらでも利用してください。

御存知のように、現在わが国では医療制度改革が進められています。患者様にとつては医療保険料や診療費の負担増加の一方、病院の収入の基盤である診療報酬は大きく引き下げられました。このように、病院の運営を取り巻く環境はますます厳しくなっています。病院医療は今、転換期を迎えており、公立三次中央病院は今まで通り地域の中核病院として、病診連携では急性期医療・高度医療などを担当すべきと考え、その機能の充実に努めてまいります。患者様本位の視点から、安全で質の高い医療を提供するとともに、患者様から高い満足度が得られるよう努めてまいります。

今後も、広報誌「花みずき」を通して病院の情報を地域の皆様や患者様へ発信し、より身近な病院として、信頼され親しまれる病院を目指してまいります。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。



外来診療担当医師一覧表

受付時間 ■ 8:30 ▶ 11:00

※ただし特殊外来は除きます。

案内 番号	診療科		月	火	水	木	金	特 殊 外 来
6	内 科	第 1 診 察	原 睦 展	末永 健二	原 睦 展	末永 健二	原 睦 展	◆糖尿病外来(月)13:00～14:00
		第 2 診 察	吉 田 敬	吉 田 敬	上綱 雅一	吉 田 敬	上綱 雅一	◆腹膜透析外来(水)13:00～[要予約]
		第 3 診 察	田中 幸一	田中 幸一	福田 幸弘	田中 幸一	福田 幸弘	◆呼吸器外来(水)14:00～[要予約]
		第 4 診 察	田中美和子	中井 訓治	高橋 俊介	山内 理海	中井 訓治	
		第 5 診 察	小田 登	望月 久義	小田 登	望月 久義	岩佐 雅英	
		第 6 診 察	濱田 敏秀	日高 貴之	濱田 敏秀	桑原健太郎	日高 貴之	
		処方外来	上綱 雅一	桑原健太郎	吉 田 敬	日高 貴之	小田 登	
		人工透析	高橋 俊介	高橋 俊介	高橋 俊介	高橋 俊介	高橋 俊介	
		胃カメラ	中井・高橋	濱田・岩佐・山内	桑原・田中[美]	原・岩 佐	濱田・田中[美]	
		心エコー	福田 幸弘	福田 幸弘	日高 貴之	小田 登	田中 幸一	
		腹部エコー	岩 佐・山 内	原・田中[美]	中井・岩 佐	濱田・上綱	桑原・高橋	
		ペースメーカー			田中 幸一			
		心筋シンチ				福田 幸弘		
		巡回診療			山内 理海	田中美和子		
	健 診	第 1 診 察	望月 久義	高橋 俊介	望月 久義	中井 訓治	望月 久義	
		第 2 診 察	日高 貴之	上綱 雅一	岩佐 雅英	高橋 俊介	吉 田 敬	
	救 急 部	午 前	桑原(内)	小田(内)	田中[美](内)	岩佐(内)	山内(内)	
		午 後	岩佐(内)	山内(内)	桑原(内)	上綱(内)	田中[美](内)	
6	整形外科	第 1 診 察	下垣 浩一	高田 治彦	下垣 浩一	下垣 浩一	高田 治彦	
		第 2 診 察	横矢 晋	西山 賢治	高田 治彦	西山 賢治	横矢 晋	
7	外 科	第 1 診 察	甲斐 良樹	瀬分 均	立本 直邦	甲斐 良樹	瀬分 均	◆ストーマ外来(第 2 水)14:00～
		第 2 診 察	立本 直邦	杉山 陽一	内藤 浩之	医師交替	医師交替	
	耳鼻咽喉科	第 1 診 察	永澤 昌	永澤 昌	手 術	永澤 昌	永澤 昌	◆小児慢性疾患外来(月) 受 付 13:30～15:00 診 察 14:30～16:00
		第 2 診 察	竹田 雅聖	竹田 雅聖		竹田 雅聖	竹田 雅聖	
		第 3 診 察	林 直樹	林 直樹		林 直樹	林 直樹	
	眼 科	第 1 診 察	敦賀 孝典	敦賀 孝典	敦賀 孝典	敦賀 孝典	敦賀 孝典	
		第 2 診 察	佐々木崇暁	佐々木崇暁	佐々木崇暁	佐々木崇暁	佐々木崇暁	
		午 後	予約外来	手 術	予約外来	予約外来	手 術	
	産婦人科	第 1 診 察	赤木 武文	羽山 友成	赤木 武文	羽山 友成	赤木 武文	◆いきいき広場(木)13:00～15:00 ◆妊婦教室 (第 4 火)13:00～15:00 ◆母乳外来 (木)15:00～16:00 ◆更年期外来 (火)14:00～
		第 2 診 察	頼 英美	赤木 武文	頼 英美	頼 英美	羽山 友成	
8	泌尿器科	第 1 診 察	三田 憲明	三田 憲明	三田 憲明	三田 憲明	三田 憲明	
		第 2 診 察	丸山 聡	丸山 聡	丸山 聡	丸山 聡	丸山 聡	
		午 後	予約検査	E S W L 予約検査	手 術	手 術	手術・E S W L 予約検査	
	皮 膚 科	午 前	小迫 雅敏	小迫 雅敏	小迫 雅敏	小迫 雅敏	小迫 雅敏	◆慢性外来(水)14:00～16:00
		午 後	手 術	手 術	慢性外来	検 査	検 査	
	9	小 児 科	午前 第 1 診 察	大西 博之	石川 暢恒	大西 博之	石川 暢恒	大西 博之
午前 第 2 診 察			石川 暢恒	中原 宏	中原 宏	中原 宏	中原 宏	
午後 第 1 診 察				大西 博之	石川 暢恒	大西 博之	大西 博之	
午後 第 2 診 察				石川 暢恒	中原 宏		中原 宏	
脳神経外科		第 1 診 察	川本 行彦	手 術	川本 行彦	手 術	津村 龍	
		第 2 診 察	白水 洋史	手 術	津村 龍	手 術	白水 洋史	
歯科口腔外科			芳村 喜道	芳村 喜道	芳村 喜道	芳村 喜道	芳村 喜道	
			有田 裕一	有田 裕一	有田 裕一	有田 裕一	有田 裕一	
麻酔科(バインクリニック)			手 術	柳谷 忠雄	手 術	手 術	手 術	
				坂口 泰子	手 術	手 術	手 術	

53名の医師で構成しています。



医局で、医師は何をしているのでしょうか？

■ 病院の組織のこと

病院の組織はどうなっているのでしょうか？。公立三次中央病院のおおまかな構成を以下に示しますと、

- 1、診療部（医師が所属）
- 2、診療技術部（放射線科、検査科、リハビリテーション科、栄養科、臨床工学士、歯科技工士、歯科衛生士）
- 3、薬剤部
- 4、看護部
- 5、事務部（総務課、財務課、医事課）

平成15年7月現在、公立三次中央病院の職員は357名であり、そのうち診療部を構成する医師・歯科医師は53名です。病院広報誌第1号なので、医局について少し説明（紹介）をさせていただきます。

■ 医局のこと

診療部に属する医師が各自の机を並べて、事務処理や勉強、あるいは学会準備をする場所（2部屋、医長室と一般医局）が、院内の2階フロアにありそこを「医局」と言います。

特別な言葉のようなひびきがありますが、単純に場所を示していると、思っていたいただいたら良いでしょう。



■ 日中の医局

医局という所は、昼間はとても閑散としています。朝の8時半前にお茶を飲みながら、NHKの朝ドラを見たり、新聞に目を通すこともありですが、たいていは7時半～8時半には病棟回診を行なって、入院患者様の病状把握と一日の診療計画を指示したりしています。そこから、内科医師は8時半より、他科医師は9時よりの外来業務へと向うことになるのです（各科によって、病棟回診にかかる時間は異なります）。

昼ごはんはといえば、12時～午後3時に外来の一段落のついた時間に、ばらばらと医局に戻って来て、皆パンやおにぎりをパクついております。しかし、30分以上もゆつくりできる医師はほとんどおりません。そそくさと再び外来業務（主には検査）・病棟業務へと出ていくので、やはり医局は静かなものです。

■ 夕方からの医局

医局がすこし賑わってくるのは午後6時ころからでしょうか？ようやく、今日の業務の話、よもやま話を語らいホッとするひとときです。が、若手

の中堅医師にとつてはそれから自分の勉強の時間です。医学書での勉強、インターネット検索、学会の準備と、医局が活発なのは夜なのです。昔、十日市に病院があったころの医局では、夕方は医師のたまり場のな面もありましたが、今では事務的かつ学術的な要素の強い場所となっております。ストレス発散の場を三次市内のパブ・スナックに求める若手医師もいるかも知れません。温かく見守ってくだされば幸いです。

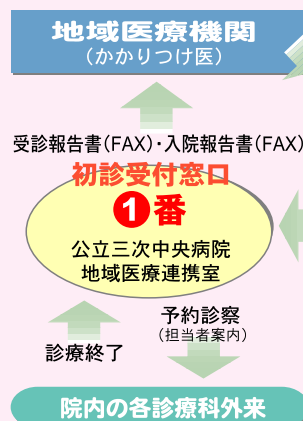
いろいろな相談にも対応します。

■ 総合相談室の業務

- 相談内容 ●
- 健康や生活習慣病について
- 自宅での療養について
- 医療・介護・福祉制度について
- 交通事故・労働災害等について
- 医療費のお支払いについて
- 当院へのご意見・ご要望など、その他お困りのこと



「かかりつけのお医者さんなど」からの紹介でこんなにも便利になります。



かかりつけ医よりの紹介患者様



公立三次中央病院では地域医療連携室を開設し、地域の医療機関とのタイアップで患者サービスの向上に取り組んでいます。地域の医療機関「かかりつけのお医者さんなど」から、地域医療連携室を通して予約いただければ、こんなメリットがあります。

- 初診予約制により診察の予約時間がわかるため、これに合わせで来院いただけます。
- 担当医師を事前にご指定することができます。
- 患者様の事務手続きが簡素化されます。

受付

月曜日から金曜日の毎日、午後8時30分～午後5時まで総合受付①番の窓口で受け付けております。

とくに、毎週水曜日の午前10時～午前12時までの時間は看護師が相談に対応させていただきます。

※相談をご希望の方は、お気軽に総合受付①番にお申し出ください。

患者様のベストサポートを目指して

この酒屋の地に新築移転した後、病院報を発刊したいねと言いつながら、新システムの導入、医療・福祉制度の急激な変化等々の嵐に押しまぐられ、できないまままで今日に至ってしまいました。

このたび待望の発刊となり、さて何からご紹介しようか！?!。まずは、いつでも誰でも安心して医療が受けられるための「救急医療看護体制」についてご紹介します。

緊急医療看護体制について

平成14年度の救急患者数は13,441人(平均36・8人/日)で、その内の約80%が時間外救急患者です。

看護部は、その救急対応のため、平日の昼間は2階病棟看護師が1、2名、夜間休日は外来看護師と夜勤



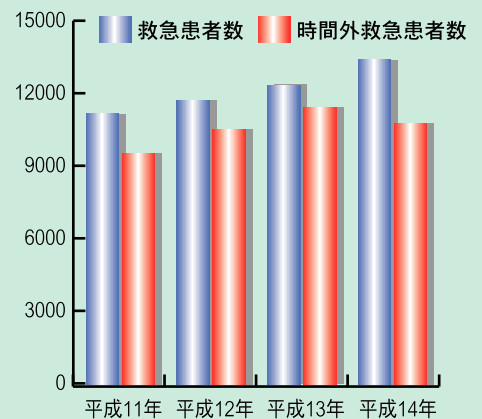
看護師長2、3名で対応しています。救急受診された後に入院が必要となつたとき、小児科・産婦人科は主に3階東病棟へ、他の科は重症度によつて2階病棟・ICUの病棟か、それ以外の病棟に入院していただきます。また、夜間の救急入院は2階病棟・ICUで担当し、他の病棟は静かな夜間環境が保てるように考慮しています。病棟看護師長は、朝夕に病床運用会議を行い、夜間5床の救急入院ベッドを確保しています。

今日も救急車のサイレンが鳴り響いています。ほくっと大きく深呼吸し、白衣の胸を押さえて救急室ドアへ向かいます。

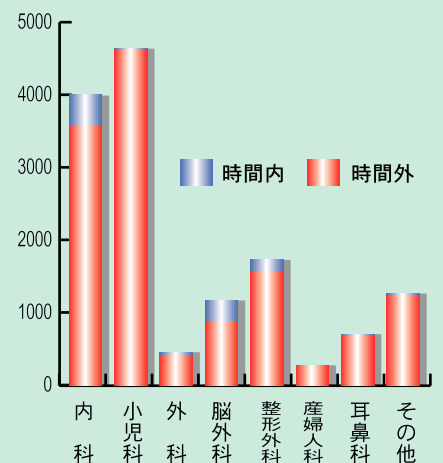
命の安全を守るため、適切な救急対応ができるよう、関係機関のご協力をいただきながら更なる看護師体制を整備していきたいと思ひます。

公立三次中央病院の救急患者数

年別救急患者数(人)



平成14年度 科別救急患者数(人)



看護への思い

2階病棟 中島 香

看護師になって1年4ヶ月が経ちます。私は、患者様やご家族と、人々としての関わりができる看護をしたいと考えています。

重症の患者様を多く受け入れる病棟で看護をしていると、意思疎通の図れない患者様にも日々接します。私は、自分で訴えることができないからこそ、患者様の訴えや思いを感じとる必要があるのだと思ひます。

患者様やご家族の思い・訴えに決して鈍感にならないように、心につかりと目を向けた看護をしたいと考えています。

私は、1年前、看護師であると同時に患者の家族という立場になりました。祖父が手術をするために入院したからです。手術直後には私が勤

務する病棟に入院し、その後退院までは1ヶ月ほどかかりました。

手術当日は勤務していても時計ばかりが気になり、手術が終わった時には、看護師である前に家族のひとりとしてそこにいる自分がいました。

祖父の顔を見た時にはホッとして涙が出るほどでした。これまでに看護師として見てきたことでも、自分の家族が同じ状況におかれ、大変に動揺したことを覚えています。入院すること、手術をするということが、患者様やご家族にとっていかに大きな出来事であるかを痛感しました。

私は、この祖父の入院を通して、患者様・ご家族の心に寄り添う看護の大切さを実感しました。看護師としても人としてもまだまだ未熟な私ですが、患者様ご家族の思いを大切にし、支えとなる看護を目指したいと思ひています。

ご存じでしたか？

看護師のユニフォーム



いろいろなスタイルと色が、いろいろな施設で異なります

それぞれのカラーでわかる
病院での仕事

看護師のユニフォームは、「白衣の天使」に象徴されるように白色でした。しかし、昭和40年に厚生省（現在の厚生労働省）が淡い色調を公認しました。現在では、ピンク、ブルー、イエロー、グリーンなど様々な色のユニフォームがいろいろな施設で使用されています。

当院では、基本的に女性が白色、男性が青色のユニフォームを着用しています。女性はワンピースとツーピースの2種類があり、また、予防衣も白色とピンクの2色があります。さらに、手術室や集中治療室などの特殊な場所では専用のユニフォームが着用されています。また、病棟勤務の看護助手は青色のユニフォームに白色の予防衣を着用しています。



女性看護師のユニフォーム



ワンピースとツーピース



新生児集中治療室

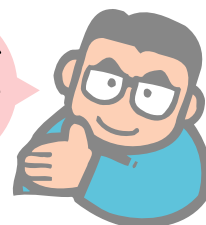


手術室のユニフォーム



男性看護師のユニフォーム

病院内で見かけるでしょ



看護助手のユニフォーム

安心できる

薬とおつきあい



薬剤部は現在、12名の薬剤師で業務を行っています。

私たちは、処方せんに基づく調剤を基本として、製剤、服薬指導、医薬品情報活動、薬品管理等、薬を介して患者様のお役に立つよう努めています。

当院では今年より、お薬の説明書をカラー化し、お薬の効果、副作用および使用上の注意を、患者様へ情報提供させて頂いております。

また、入院患者様におきまして指導の必要な方にはベッドサイドに赴

食は健康生活の

源泉です



調理場での盛り付け

栄養科の業務を大きく分けると、入院患者様への食事の提供と栄養指導があります。

食事は、飲み込むのが難しい方や食欲不振の方に対して、できる限りご希望を取り入れる様にしています。そして、温冷配膳車の使用により、患者様のもとに温かい食事をお届け出来るようになっていきます。

個別栄養指導は、入院・外来患者様を対象に医師の指示のもとに予約制で行っています。また、10月20日(月)から4回シリーズで糖尿病教室を予定しています。詳しくは内科外来でおたずねください。



病棟での服薬指導

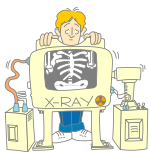
き、お薬の名前その効果、その他注意すべき点等、正しい薬の使用方法のご説明をさせて頂いております。お薬のことで何かわからないこと、心配なことがありますたら、院外処方、院内処方問わず、どうぞお気軽に声をお掛けください。

早期生活復帰のために

当院のリハビリ科では、理学療法士5名、作業療法士2名を中心に急性期のリハビリ(主に骨折や脳卒中など)を行っています。その他の特色としては呼吸療法認定士(理学療法士が取得しています)らによる急性期・慢性期の呼吸器疾患のリハビリも行っています。

リハビリは与えられるものではありません。患者様が回復しようとする努力が必要で、それを私たちがアプローチさせて頂いたとき、社会復帰・家庭復帰を目指して一緒に頑張っていきます。

診断価値の高い 情報の提供



始業前の検査備品の清掃

放射線科は、現在放射線科医師2名、放射線技師12名(女性1名)、看護師3名のスタッフで構成されています。

患者様に安心して検査を受けて頂けるように、毎朝、検査機器、備品の清掃および保守管理やX線量管理を適格に行うとともに、各種研修会へも積極的に参加し、更に診断価値の高い情報を提供できるようにしています。

また「言葉遣いは、心遣いから」をモットーに、日々患者様への対応にも心がけております。



肺の理学療法

また、家庭復帰などの際には介助方法や福祉機器、介護用品などのアドバイスなども行っています。

編集後記



創刊号をお届けします。タイトルの「花みずき」は、病院内の中庭など、いつも皆様の目にふれる場所に植えてある柔らかな印象の広葉樹です。春先には、葉の表面に静かな落ち着いた花を、樹木いっぱいにつけてくれます。

中央病院は、新しい建物になってから今年で9年目を迎えており、スタート時の新鮮さもやや一巡したところでもあります。こんな中で、中央病院は、「良くなった、変わった」と皆様から言われるよう、今いろいろな取り組みを進めております。本誌も皆様とのコミュニケーションの一助になればと思っております。

第1号を創刊するにあたって、お知らせしたいことは山ほどあるのですが、あまり力こぶを入れすぎて読みたいものになつてもと思い、各部門の紹介などを中心に、読みやすい誌面づくりの心がけてみました。いかがでしょうか。

今後、皆様のご意見をもとに親しまれる広報誌づくりに努めていきたいと思しますので、よろしく願います。

編集委員長 湧田 耕生

職員募集

三次中央病院組合
職員の採用試験を
次のとおり行います。

職 種 ● 助産師・保健師・看護師

採用予定人員 ● 若干名

受験資格 ● 昭和49年4月2日以降に生まれた人で看護師資格を有する人
(平成16年の国家試験により資格取得見込みの者を含む)

備 考 ● 三交替制勤務が可能な人

受付期間 ◆ 8月11日(月)から9月19日(金)まで 郵送(書留)の場合は、9月19日(金)必着

試験日 ◆ 第1次試験 平成15年10月5日(日) 午前9時～

試験会場 ◆ 公立三次中央病院講堂

問い合わせ・申込先 ◆ 総務課人事係 TEL.0824-65-0101

「病院の医療を考える市民の会」会員募集

公立三次中央病院では、医療サービス向上のため、広く地域の皆さまの意見を反映させることを目的に、「病院の医療を考える市民の会」を設置することになりました。病院の医療サービスについて、積極的なご意見をお持ちの方を募集します。なお、団体・グループからの推薦委員と一般公募の委員で市民の会を構成し、1年に2回程度の意見交換会を開催し、病院に市民意見を提言します。

応募資格 ▶ 三次市・双三郡在住で、医療に関心がある18歳以上の方。

募集人員 ▶ 約8人程度(定員を超えた場合は選考させていただきます)。

募集方法 ▶ 公立三次中央病院総合受付、または総務課に備え付けの「応募用紙」に必要事項をご記入のうえ提出してください。

[公立三次中央病院まで来られない方は、お電話いただければ募集要項と応募用紙を郵送します]

募集期間 ▶ 平成15年8月18日(月)～平成15年9月10日(水)

問い合わせ・申込先

総務課 庶務係

☎ 65-0151

公立三次中央病院

〒728-8502 広島県三次市東酒屋町字敦盛531番地

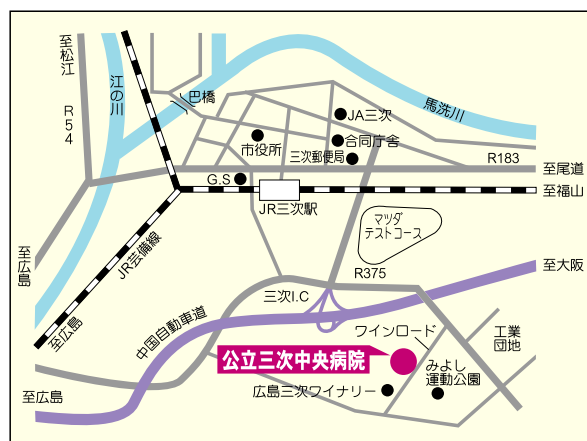
TEL.0824-65-0101 / FAX.0824-65-0150

<http://www.miyoshi-central-hospital.jp>

■交通のごあんない

バス… 芸陽バス・備北バス・中国バス
が運行します。JR三次駅から約10分です。

お車… JR三次駅から約6分、中国自動車道三次I.C.
から約3分です。



広報誌「花みずき」に対するご意見などございましたらお寄せください。